

(様式第1号)

2019年4月26日

認定介護福祉士認証・認定機構  
理事長 大島 伸一 様

領域名：医療に関する領域  
科目名：疾患・障害のある人への生活支援・連携Ⅲ  
単位数：2単位  
認証申請する研修の名称：認定介護福祉士養成研修

団体名：一般社団法人静岡県介護福祉士会  
団体事務所の所在地：〒420-0856  
静岡県静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館4階  
電話：054-253-0818  
FAX：054-253-0829  
E-mail：shizukai@cy.tnc.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：一般社団法人静岡県介護福祉士会  
申請責任者：会長 及川 ゆりこ



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

## 認定申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	医療に関する領域	
科目名	疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ	
(1)提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	日常によくある疾患だけでなく、対応する頻度が少ない疾患や障害等を含めて、高齢者・障害者の疾患・障害等についての医学的知識を用いて、生活支援、連携、介護職への指導を実践できるようにする。	
到達目標	<p>①高齢者・障害者の疾患・障害等について、機序、症状、治療法・薬理作用等を理解し、説明できる。</p> <p>②症状から利用者の状態を分析し、医療の必要性について判断することができる。</p> <p>③介護職への指導を行うための疾患や障害等に応じた生活支援について理解し、実践できる。</p> <p>④利用者の人生の最終段階における生活支援に関する医療的知識を学ぶとともに、生活支援（介護職）の役割を理解し、他者に説明できる。</p>	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>①高齢者・障害者の疾患・障害等（日常によくある疾患だけでなく、対応する頻度は少ないが学習しておくことが重要なもの）発生等の機序、症状、治療、看護、薬の知識、アセスメント、生活支援の留意点・観察のポイント等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・難病、指定難病のうち患者数の多い潰瘍性大腸炎、パーキンソン病、全身性エリテマトーデス、クローン病、在宅での課題が多いALS、多発性硬化症の知識とその対応</li> <li>・人工呼吸器の取扱い上の留意点</li> <li>・多職種との連携や確認のポイント等</li> <li>・高齢者・障害者の疾患・障害等に応じた生活支援</li> </ul> <p>②先天性障害・乳幼児期からの障害（ポリオ等）、認知症以外の精神障害、神経難病、術後管理等主に病院等医療機関におけるケア（医療的ケアの実施等）への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出現している症状から原因を理解する事例、症状が重複している事例</li> </ul> <p>③介護職チームへの指導教育</p> <p>④人生の最終段階における支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職の役割</li> <li>・家族の心理と家族支援</li> <li>・がんの理解と対応、がんの4つの苦痛に対する支援</li> <li>・グリーフケア、意思決定支援</li> <li>・必要な医療的知識と連携</li> </ul>	<p>○事前課題①（3時間） 厚生労働省による指定難病及び難病についてA4用紙1枚程度にまとめてレポートする。</p> <p>○講義①（4時間） 介護施設や在宅介護で生活支援や継続して医療支援をうける疾患を中心に理解する。必要とされる医療機器について理解する。特に症状や病状の把握と情報共有の大事さを理解する。</p> <p>○事前課題②（3時間） ICF（国際生活機能分類）の意図するところを学習して、A4用紙1枚にまとめて提出する。</p> <p>○講義とグループワーク②（4時間） 先天性による又は疾患による障害者に対しても、低下した能力の支援を通じて、本人の自立を尊重することを理解する。 先天性障害・乳幼児期からの障害における発達と医療的ケア児の課題について理解する。</p> <p>●理解度評価筆記テスト（含むべき内容の①②から）20問（1時間）</p> <p>○事前課題③（3時間） 介護チームで新人や部下に教育を行うときに感じる課題があれば、A4用紙1枚にまとめて提出。</p> <p>○講義とグループワーク③（4時間） 疾患・障害の理解を深めるために出来る研修体制を考える。多職種で行うケースカンファレンスの重要性。</p> <p>○事前課題④（3時間）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・麻薬や睡眠剤の作用</li> <li>・副作用の基礎的な知識</li> <li>・疾病・障害の機序、症状</li> <li>・診断・各種の治療法</li> <li>・在宅で活用できる社会資源</li> <li>・ターミナル期における在宅療養生活</li> <li>・高齢者領域の社会資源</li> <li>・障害者領域の社会資源</li> </ul>	<p>緩和ケアにおける「四つの苦痛」を調べて、介護福祉士としての関わりの可能性について、A4用紙2枚以内に記述して提出すること。</p> <p>○講義とグループワーク④（4時間） 人生最期の場所が在宅より病院や施設の場合が多くなっている。医療職や介護職の役割と連携して関わることの重要性を理解する。</p> <p>●理解度評価筆記テスト（含むべき内容の③④から）30問（1時間）</p>
研修方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■集合研修</li> <li>■課題学習</li> </ul> <p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○課題学習は事前課題として、レポート課題を課す。評価は担当講師が行う。</p>	
研修時間	30時間（集合研修18時間、課題学習12時間）	
修了要件	<p>○全課程の出席を要する。公共交通機関の影響、冠婚葬祭、担当する利用者の急変といったやむを得ない事情による遅刻又は早退については30分を上限として認める。（レポート課題あり）</p> <p>○修了評価として行う筆記試験（1日目20問、2日目30問）の合計点が100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。D評価の場合は再試験（本試験同様）を行い、C評価以上とならなければ修了を認めない。</p>	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験があること</li> <li>・修士課程を修了していることが望ましい</li> <li>・在宅支援の経験がある医師または看護師が望ましい 医師：大学講師以上または学会認定専門医以上が望ましい 看護師：大学講師以上または「認定看護師」以上の資格を所持していることが望ましい</li> <li>・補助者についても当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある者</li> </ul>	
(2)受講者について		
受講対象（受講要件）	<p>単位取得できるのは介護福祉士資格を有する者であること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「認定介護福祉士概論」を修了していること。</li> <li>・「疾患・障害者等のある人への生活支援・連携Ⅱ」を修了していること。</li> </ul>	
修了評価	<p>筆記試験（1日目20問、2日目30問）の合計点が100点～80点をA評価、79点～70点をB評価、69点～60点をC評価、59点以下をD評価とする。A～C評価（100点満点中60点以上）で修了とする。D評価の場合は再試験（本試験同様）を行い、C評価以上とならなければ修了を認めない。</p>	
(3)研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	40名（講師1名）演習時も同じ講師で行う。ファシリテーターが必要な場合は講師要件にあった講師を配置する。	
開催場所（都道府県）	静岡県総合社会福祉会館シズウエル（静岡県）	

コマシラバス (2日間)

科目【疾患・障害等のある人への生活支援・連携Ⅲ】

1日目 (9時間)

※本科目は、1時間を45分と換算します。

区分	科目名	時間		内容
1 コマ目	高齢者・障害者の疾患・障害等の理解	9:30～11:00	90 (2h)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症、がん、精神障害、疾患や障害のある小児と家族支援</li> <li>・高齢者の薬物療法の特徴と服薬支援</li> <li>・社会資源の活用とネットワークづくり</li> </ul>
	休憩	11:00～11:10		
2 コマ目	難病、指定難病の知識とその対応	11:10～12:40	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・難病の種類と難病対策</li> <li>・在宅療養における難病の人の課題</li> <li>・難病の人への実際の支援</li> <li>・家族への支援</li> <li>・療養環境の整備と社会資源の活用</li> </ul>
	昼食休憩	12:40～13:40		
3 コマ目	人工呼吸器の取り扱い上の留意点	13:40～15:10	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吸引・気管カニューレ管理</li> <li>・在宅酸素療法</li> <li>・在宅人工呼吸療法</li> <li>・非侵襲的人工呼吸療法</li> <li>・侵襲的陽圧換気療法</li> <li>・呼吸リハビリテーション</li> <li>・関係職種等との連携及び社会資源の活用</li> </ul>
	休憩	15:10～15:20		
4 コマ目	多職種との連携 介護職チームへの指導教育	15:20～16:50	90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養を支える職種の役割</li> <li>・チームアプローチ</li> <li>・関係職種・機関との連携・協働の在り方</li> <li>・介護チームにおける課題・改善策</li> <li>・疾患・障害の理解を深めるための研修体制、質の向上</li> <li>・多職種で行うケースカンファレンス</li> </ul>
	休憩	16:50～17:00		
5 コマ目	まとめ	17:00～17:45	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解度評価筆記テスト</li> </ul>

## 2日目（9時間）

区分	科目名	時間	内容
1 コマ目	在宅ケアを必要とする小児の特徴と支援	9:30～11:00	90 <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期にわたり在宅ケアが必要となる疾患</li> <li>・重症心身障害児の理解</li> <li>・医療的ケア児の理解</li> <li>・よく見られる代表的な身体症状</li> <li>・医療的ケア児のン地上生活への支援</li> <li>・家族への支援</li> </ul>
	休憩	11:00～11:10	
2 コマ目	高齢者・障害者の疾患・障害等に応じた生活支援（グループワーク）	11:10～12:40	90 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者・障害者・医療的ケア児に対する支援についてのグループワーク</li> </ul>
	昼食休憩	12:40～13:40	
3 コマ目	末期がん療養者における緩和ケア	13:40～15:10	90 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの特性とがん対策の概要</li> <li>・がん・非がん療養者への緩和ケア</li> <li>・がんの4つの苦痛に対する支援と介護職の役割</li> </ul>
	休憩	15:10～15:20	
4 コマ目	エンドオブライフケアにおける在宅療養者の支援	15:20～16:50	90 <ul style="list-style-type: none"> <li>・がんの苦痛緩和への支援</li> <li>・多職種との連携</li> <li>・家族の心理と家族支援</li> <li>・グリーフケア・意思決定支援</li> </ul>
	休憩	16:50～17:00	
5 コマ目	まとめ	17:00～17:45	45 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解度評価筆記テスト</li> </ul>

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 2020年7月11日(土)
	② 2020年7月12日(日)
	③
開催場所(会場)	① 静岡県総合社会福祉会館(静岡市葵区駿府町1-70)
	② 〃
	③
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	<p>○疾患・障害のある人への生活支援・連携Ⅲ 今福 恵子 氏</p> <p>【略歴】 静岡市立静岡病院、訪問看護ステーションで看護師として勤務後、静岡県立大学短期大学部第一看護学科助手、静岡県立大学短期大学部看護学科講師。聖隷クリストファー大学大学院保健科学研究科修了(看護学博士)。 2016年4月より2019年3月まで静岡県立大学看護学部講師 2019年4月より日本赤十字豊田看護大学在宅看護学准教授 現在に至る</p> <p>主な著書： ・「標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動」(共著)，医学書院、2017.2 ・「ナーシング・グラフィカ在宅看護論②在宅療養を支える技術」(共著)，メディカ出版、2018.1 ・東日本大震災の実際から患者・家族、専門職に期待すること、月刊難病と在宅ケア，Vol.22 No.1 p14-18.2016.4 ・重度難病患者に対する災害時の個別対応訓練の実施について、月刊難病と在宅ケア，Vol.23 No.11 p25-29.2018.2 ・よくわかる医療・看護のための統計入門，東京図書，2009 ・看護系学生のためのやさしい統計学，共立出版，2010</p>
	<p>担当する講義等 事後課題評価 今福恵子氏 経歴等は同上</p>

(3)実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会（非常勤:6名） 委員会事務局（担当事務局員：常勤2名・非常勤2名）  認定介護福祉士養成研修委員会において各科目の教育目的や到達目標を確認し、担当講師と科目間の連間や留意点について共有する。またできる限り研修実行委委員会の委員が研修に参加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の見直しを図る。
研修の企画運営に関する諸規程	静岡県介護福祉士会の定款、研修委員会の諸規程に準ずる。
研修管理責任者職名	会長
研修管理責任者氏名	及川 ゆりこ
機構問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
機構問合せ先担当者氏名	平野 美智子
機構問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
機構問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
受講問合せ先部署	静岡県介護福祉士会事務局
受講問合せ先担当者氏名	平野 美智子
受講問合せ先電話番号/FAX	054-253-0818 / 054-253-0829
受講問合せ先 e-mail アドレス	shizukai@cy.tnc.ne.jp
(4)研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	静岡県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低10年間とし、その後は、紙媒体で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明書を発行する。
管理責任者氏名	及川 ゆりこ（会長）
管理担当者氏名	平野 美智子（事務局長）

